

結果の分析

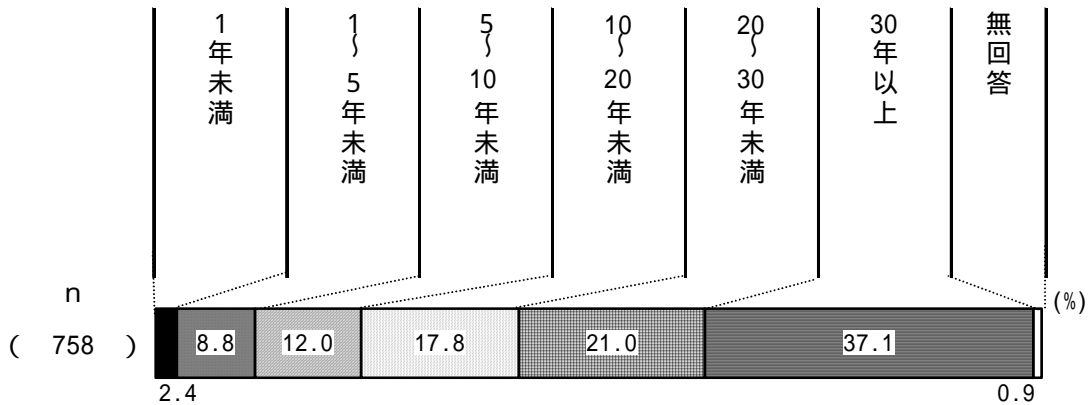
1. 定住意識

(1) 居住年数

「30年以上」が4割弱

問1 あなたは、福生市に住んで何年になりますか。次の中から1つだけ選んでください。

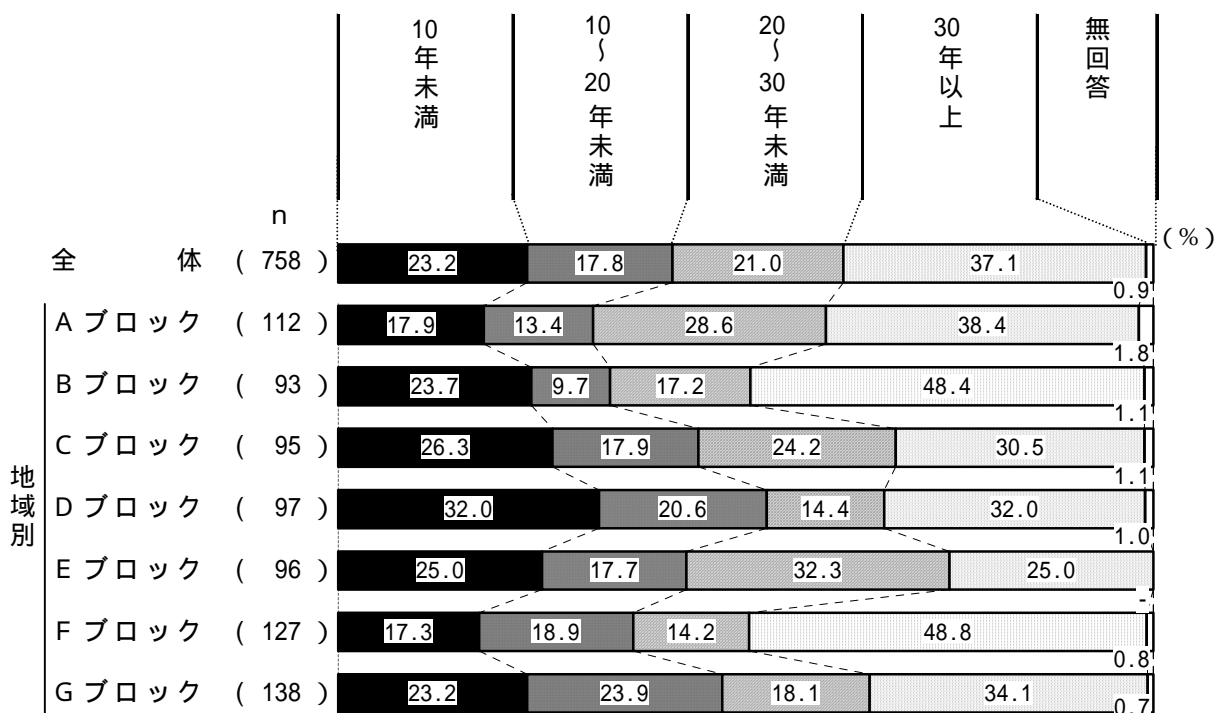
<図表1-1> 居住年数



福生市に住んで何年になるかについては、「30年以上」(37.1%)が最も多く、4割弱となっている。次いで、「20～30年未満」(21.0%)が約2割となっている。以下、「10～20年未満」(17.8%)、「5～10年未満」(12.0%)、「1～5年未満」(8.8%)、「1年未満」(2.4%)と続く。(図表1-1)

地域別では、「30年以上」住んでいる人の割合が高いのは、Fブロック(48.8%)とBブロック(48.4%)で、約半数となっている。一方、住み始めて「10年未満」という人は、Dブロック(32.0%)で高く、約3人に1人である。(図表1-2)

<図表1-2> 居住年数/地域別

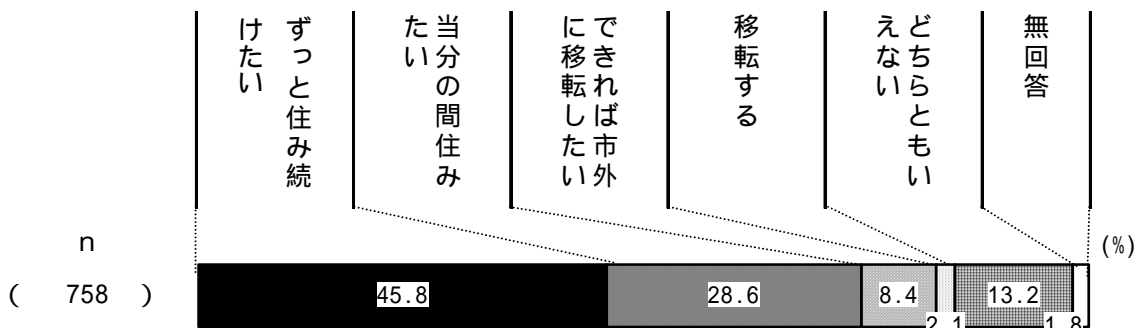


(2) 定住意向

《住み続けたい》が7割台半ば

問2 あなたは、今後も福生市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移転したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

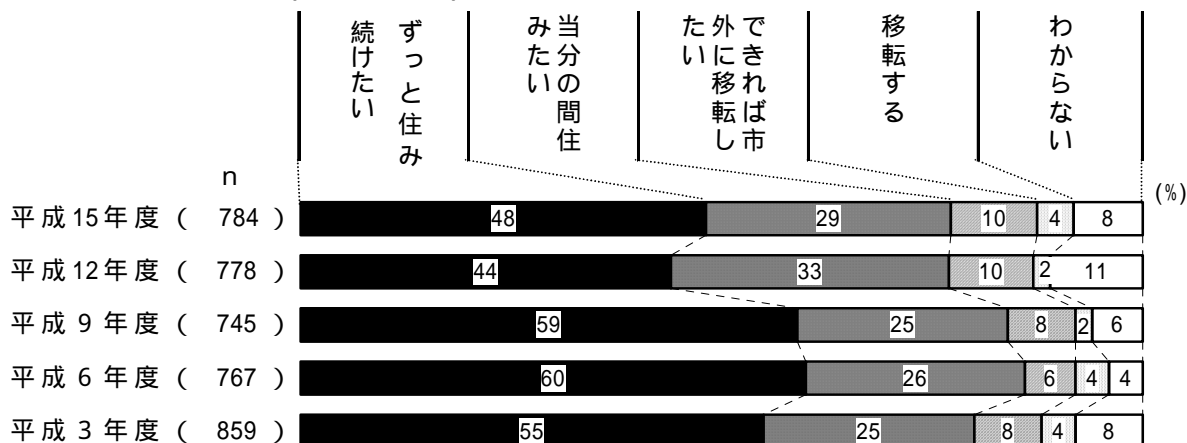
<図表1-3> 定住意向



定住意向については、「ずっと住み続けたい」(45.8%)が4割台半ばと最も多く、これに「当分の間住みたい」(28.6%)を合わせると《住み続けたい》(74.4%)の割合は、7割台半ばを占める。一方、「できれば市外に移転したい」(8.4%)と「移転する」(2.1%)を合算した《移転したい》(10.6%)は約1割にとどまっている。(図表1-3)

平成3年度からの調査結果の推移をみると、平成12年度まで《住み続けたい》の割合が減少する傾向にあったが、平成12年度からは、同程度で推移している。(図表1-4)

<図表1-4> 定住意向(過年度推移)

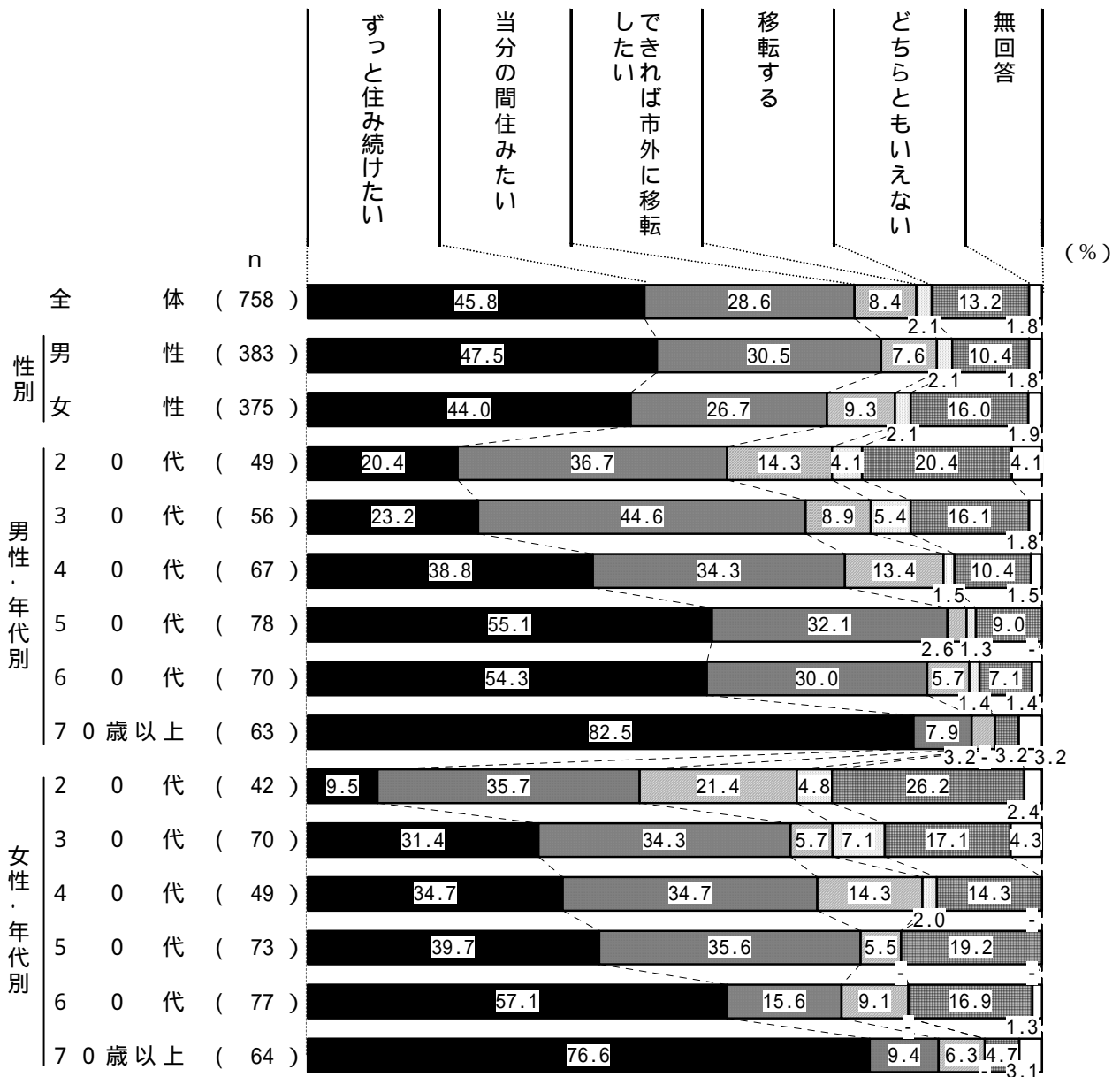


性別では、《住み続けたい》の割合は、女性（70.7%）より男性（78.1%）で高くなっている。

（図表 1 - 5）

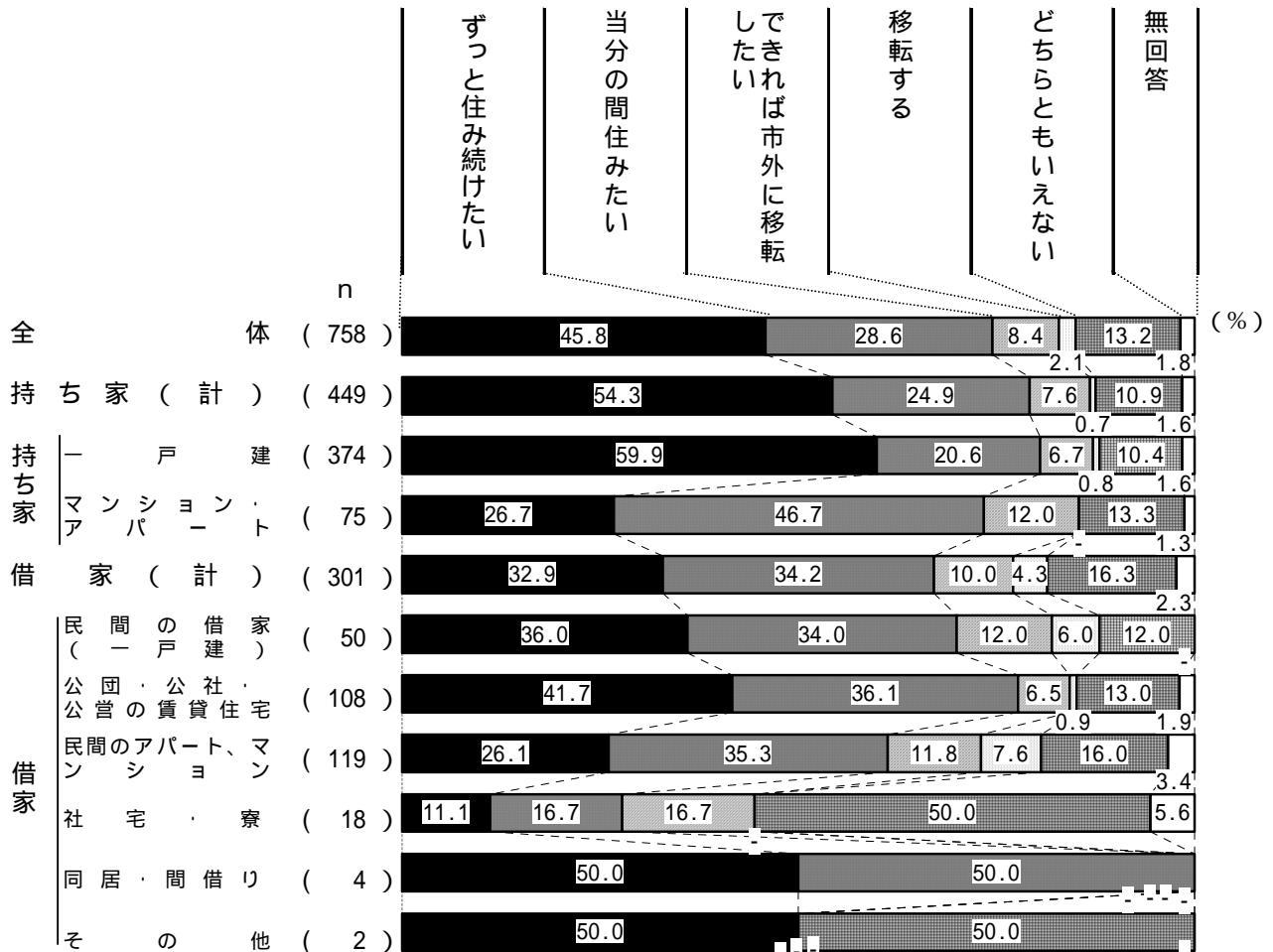
性・年代別では、《住み続けたい》の割合は、男性の50代以上、女性の70歳以上で8割を超えている。特に、男性の70歳以上（90.5%）では9割を占める。一方、《移転したい》は、若年層で高い割合を示している。（図表 1 - 5）

<図表 1 - 5> 定住意向 / 性別、性・年代別



住居形態別では、借家（計）（67.1%）より持ち家（計）（79.3%）で《住み続けたい》の割合が高くなっている。特に持ち家の一戸建では「ずっと住み続けたい」（59.9%）が6割となっている。また、公団・公社・公営の賃貸住宅も《住み続けたい》（77.8%）が8割弱と高い割合を示す。（図表1 - 6）

<図表1 - 6> 定住意向 / 住居形態別

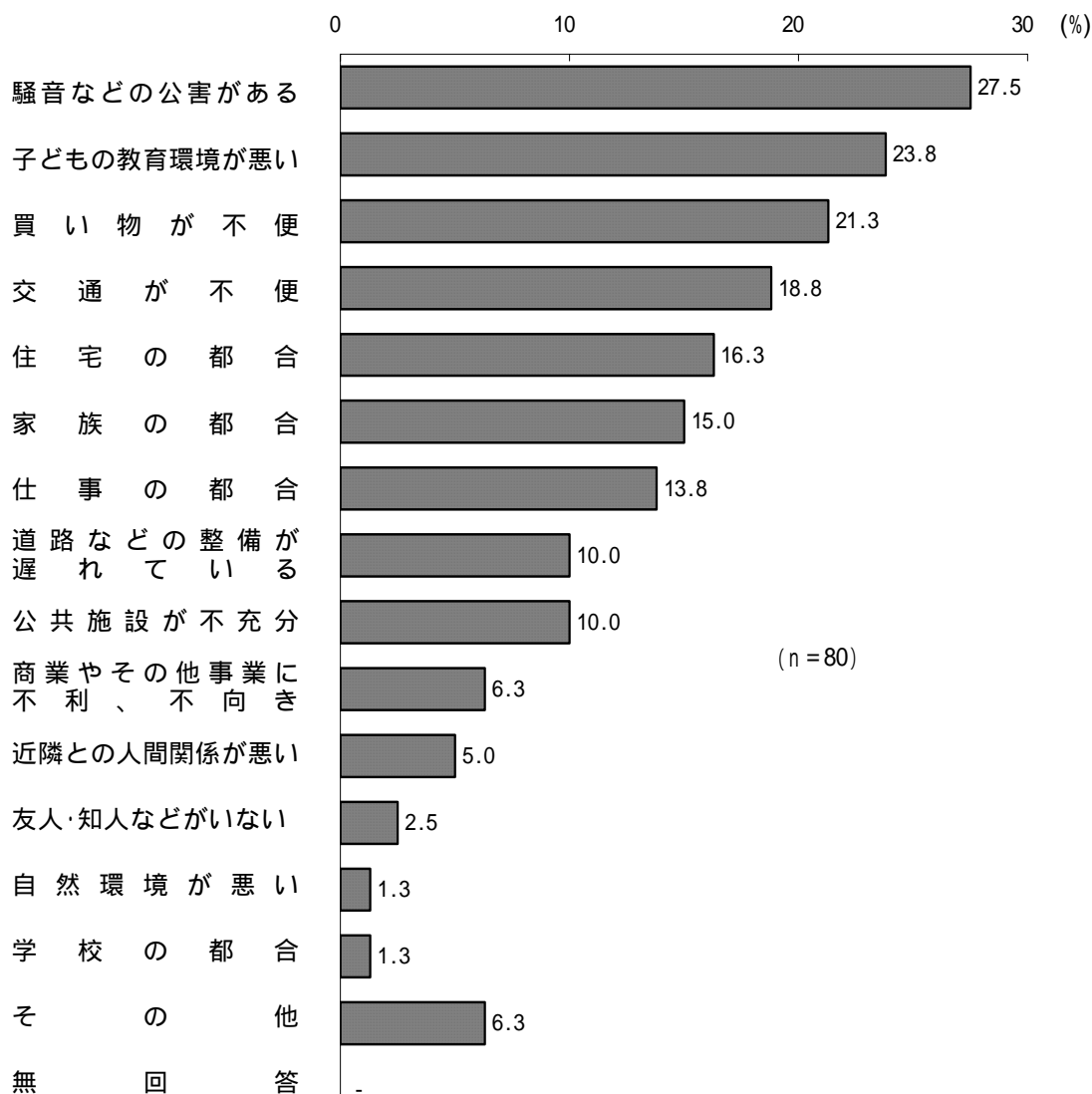


(3) 移転したい理由

「騒音などの公害がある」が3割弱

問2-1 移転したいというのは、どうしてでしょうか。次の中から2つまで選んでください。

<図表1-7> 移転したい理由(複数回答)



移転したい人にその理由を尋ねたところ、「騒音などの公害がある」(27.5%)が3割弱と最も高くなっている。次いで「子どもの教育環境が悪い」(23.8%)、「買い物が不便」(21.3%)が高く、それぞれ2割台となっている。(図表1-7)

平成15年度の調査結果と比較すると、「子どもの教育環境が悪い」、「公共施設が不十分」、「買い物が不便」、「交通が不便」などの理由が増加している。(図表1-8)

<図表1-8> 移転したい理由(平成15年度調査)

n	あ 騒 音 な ど の 公 害 が	家 族 の 都 合	仕 事 の 都 合	住 宅 の 都 合	交 通 が 不 便	買 い 物 が 不 便	自 然 環 境 が 悪 い	遅 れ て い る 道 路 な ど の 整 備 が	が 悪 い 子 ど も の 教 育 環 境	い な い 友 人 ・ 知 人 な ど が	公 共 施 設 が 不 充 分	に 商 業 や そ の 他 事 業 に 不 利 、 不 向 き	学 校 の 都 合	が 悪 い 近 隣 と の 人 間 関 係	そ の 他
784	30.7	16.7	15.8	15.8	13.2	13.2	7.9	7.9	7.0	5.3	3.5	2.6	2.6	1.8	14.9

(%)